

Title	表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか
Author(s)	
Citation	物性研究 (2001), 77(1): 195-195
Issue Date	2001-10-20
URL	http://hdl.handle.net/2433/97073
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成13年10月20日発行(毎月1回 20日発行)
物 性 研 究 第77巻 第1号

ISSN 0525-2997

vol.77 no.1

物性研究

2001 / 10

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用する時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **76** (2001), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限りします。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

先月 11 日、アメリカを襲った悲惨な無差別テロ事件は、海外渡航者の多い物理屋の業界にも少なからず、影響を与えたようだ。私の知人にも、在外研究員としての渡米を予定している方がいて、今回の事件を目の当たりにし、さぞ不安を募らせたのではないかと思う。くれぐれも旅中と滞米中のご無事を、と思う。

事件後、米国大統領による報復宣言と特殊工作員のパキスタン・アフガニスタン国境への派遣、日本の自衛隊派遣の動き等、アメリカと中東、そしてその周辺諸国が戦争へと巻き込まれていく事態に、深い懸念を感じる。

テロの犯人はイスラム原理主義過激派であるという。イスラムの文化はわれわれ日本人にとって馴染みが薄く、かく言う私も、イスラムの遺跡にエキゾチックな魅力を感じる以上の興味は持ったことが無い。ただ、学生時代に井筒俊彦の「意識と本質」を読んだとき、イスラム哲学に、西洋のマッハに優るとも劣らない高度な認識論やホワイトヘッドを彷彿とさせるような実在論があるのを知って驚嘆したことがある。といっても、私は哲学に関しては素人なので、表面的にそう感じただけかもしれないが、素人の乱暴な解釈による誤謬を恐れずに述べると、イスラムの代表的な哲学者であるイブン・アラビーによれば、この世界（全存在）は、本来、無文節である一つの実在が、様々な「限界線」によって分割され、限定されたものとして我々の表層意識にあらわれたものであるという。いうなれば、自己と他者との境界も、意識の上に仮に設けられたものにすぎないということである。実に東洋的な発想であると思う。イスラム教は本来、他宗教に対して寛容であるとされるが、そのよって来る精神は、この辺りにあるのかもしれない。我々がともすれば抱きがちな、イスラム教の排外的なイメージは、よく知らないものに対して我々が勝手に作り上げた虚構なのであろう。

今回のテロ事件は、一部の狂信的なテロリストの仕業であるとされるが、しかしながら、過去何十年にも渡って行なわれてきたパレスチナ人に対する虐殺（テロリズム）を黙認してきた西側社会（日本も含めて）がイスラム社会との対話を先延ばしにしてきたことの帰結でもあるように思える。西側社会は軍事的行動で団結するよりも、この機会に、イスラム社会とのさらに深い交流と対話を進めていく必要があるであろう。それが長い目で見て、テロリストが生まれない国際社会を築くことにつながっていくのだと思う。

(S. F.)

[物性研究]

編 集 長

早川 尚男 (京大・人環)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
 北村 光 (京大・理・物理)
 佐々木 豊 (京大・理・物理)
 藤本 聡 (京大・理・物理)
 加藤 将樹 (京大・理・化学)
 森成 隆夫 (京大・基研)
 大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
 早川 美徳 (東北大・理・物理)
 佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)
 堀田 貴嗣 (原研・先端研)
 出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)
 永井 寛之 (信州大・理・物理)
 平田 文男 (分子科学研)
 倭 剛久 (名大・理・物理)
 池田 研介 (立命館大・理工・物理)
 関本 謙 (京大・基研／在フランス)
 菊池 誠 (阪大・理・物理)
 水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
 市岡 優典 (岡大・理・物理)
 吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 77 卷 第 1 号 (平成 13 年 10 月号) 2001年10月20日発行

発行人 関 本 謙

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
 京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和企業組合
 昭和堂印刷所

〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
 TEL(075)721-4541~3

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
 京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

[物性研究]

編集長

早川 尚男 (京大・人環)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
佐々木 豊 (京大・理・物理)
藤本 聡 (京大・理・物理)
加藤 将樹 (京大・理・化学)
森成 隆夫 (京大・基研)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
早川 美徳 (東北大・理・物理)
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)
堀田 貴嗣 (原研・先端研)
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)
永井 寛之 (信州大・理・物理)
平田 文男 (分子科学研)
倭 剛久 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
関本 謙 (京大・基研／在フランス)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
市岡 優典 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 77 卷 第 1 号 (平成 13 年 10 月号) 2001年10月20日発行

発行人 関 本 謙

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和企業組合
昭和堂印刷所

〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL(075)721-4541~3

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 77-1 (10月号) 目 次

○表面とバルクの間としての原子マイクロクラスターのダイナミクス	清水 寧.....	1
○多時間相関関数と2次元分光法.....	谷村 吉隆.....	25
○シリーズ「物性研究者のための計算手法入門」 Adaptive Mesh Refinement 法とその応用 一究極の高解像度計算を目指して.....	山田 良透、宮下 尚.....	73
○修士論文(2000年度) 乱れたアモルファス超伝導薄膜の極低温における輸送現象と磁束状態	森田 真規子.....	113
多重定常状態の履歴依存性.....	石原 秀至.....	153
○編集後記.....		195

物 性 研 究 77-1 (10月号) 目 次

○表面とバルクの間としての原子マイクロクラスターのダイナミクス	清水 寧.....	1
○多時間相関関数と2次元分光法.....	谷村 吉隆.....	25
○シリーズ「物性研究者のための計算手法入門」 Adaptive Mesh Refinement 法とその応用 一究極の高解像度計算を目指して.....	山田 良透、宮下 尚.....	73
○修士論文(2000年度) 乱れたアモルファス超伝導薄膜の極低温における輸送現象と磁束状態	森田 真規子.....	113
多重定常状態の履歴依存性.....	石原 秀至.....	153
○編集後記.....		195